

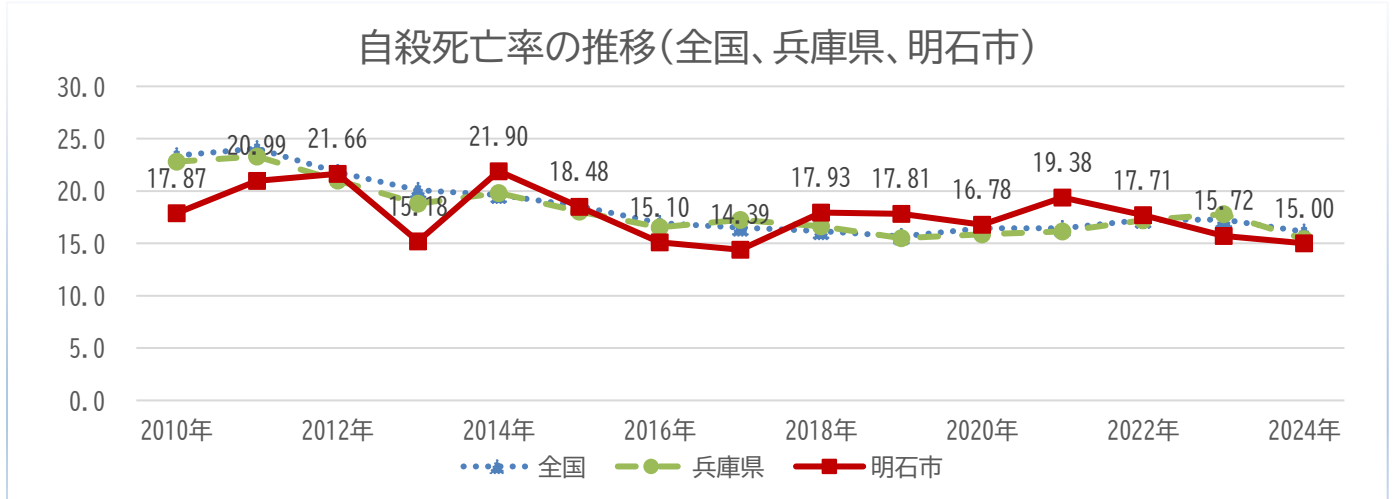
# 明石市における自殺の現状について

## 1 自殺の現状

○自殺死亡率は減少傾向。男女別比較では、男性が減少傾向であるが、女性は横ばい。  
 ○全国の年齢階級別死因のうち「自殺」は、10～30代では1位、40代では2位、50代では3位となっている。

グラフ1 自殺死亡率の推移

※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」



グラフ2 自殺者数の男女比較

※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」

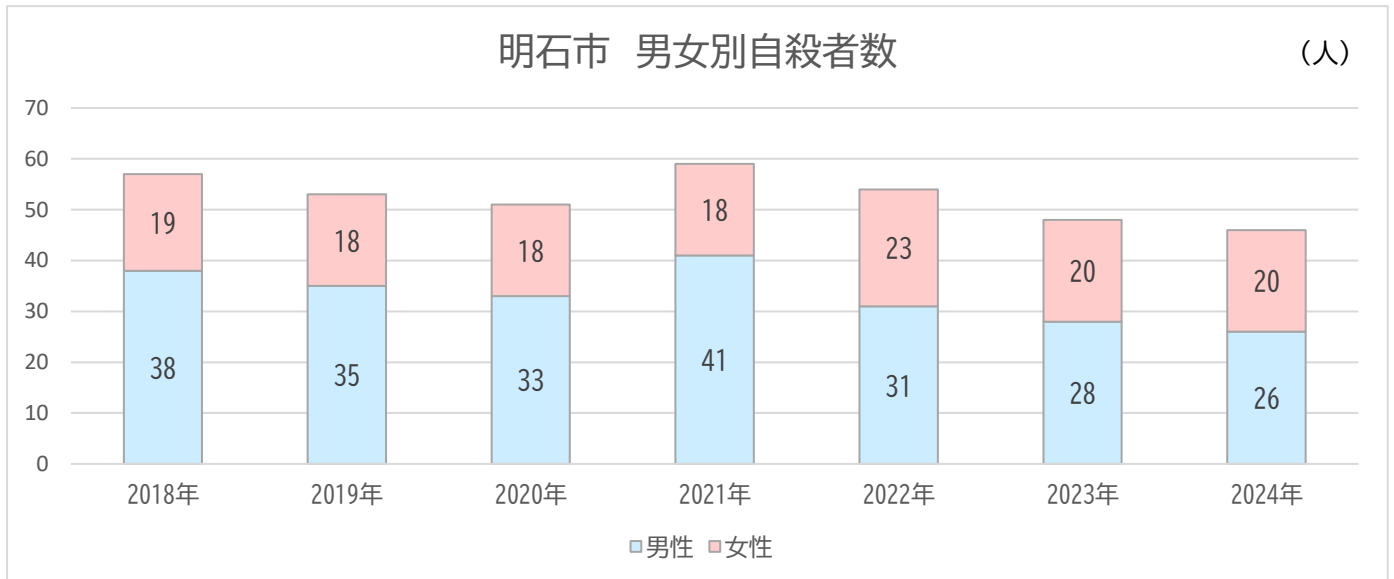


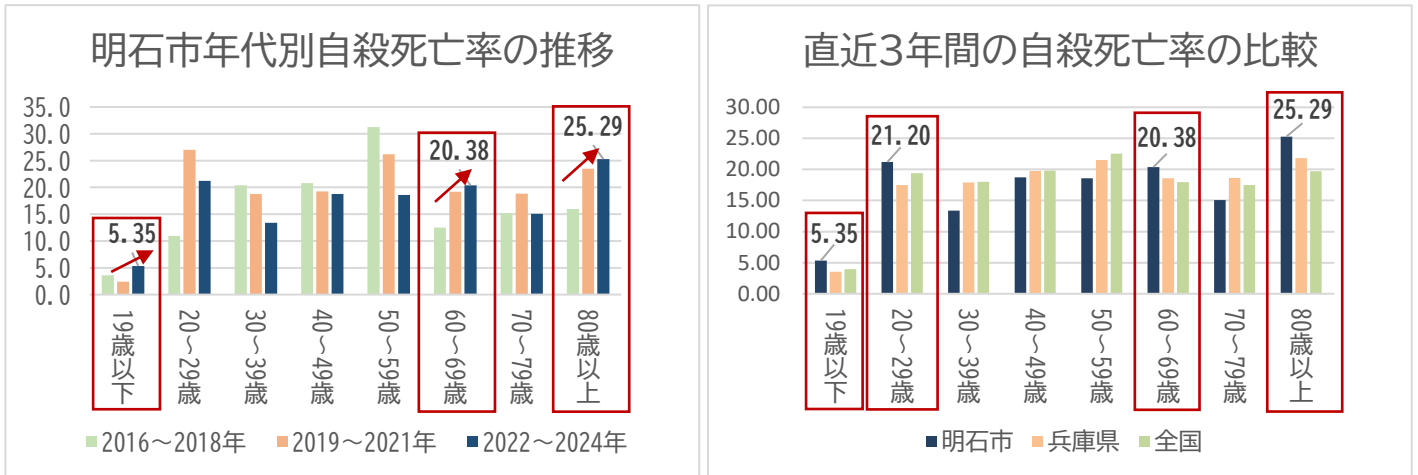
表1 全国の年齢階級別死因(参考)

※出典：厚生労働省「令和6年(2024)人口動態統計月報年計(概数)の概況」から算出

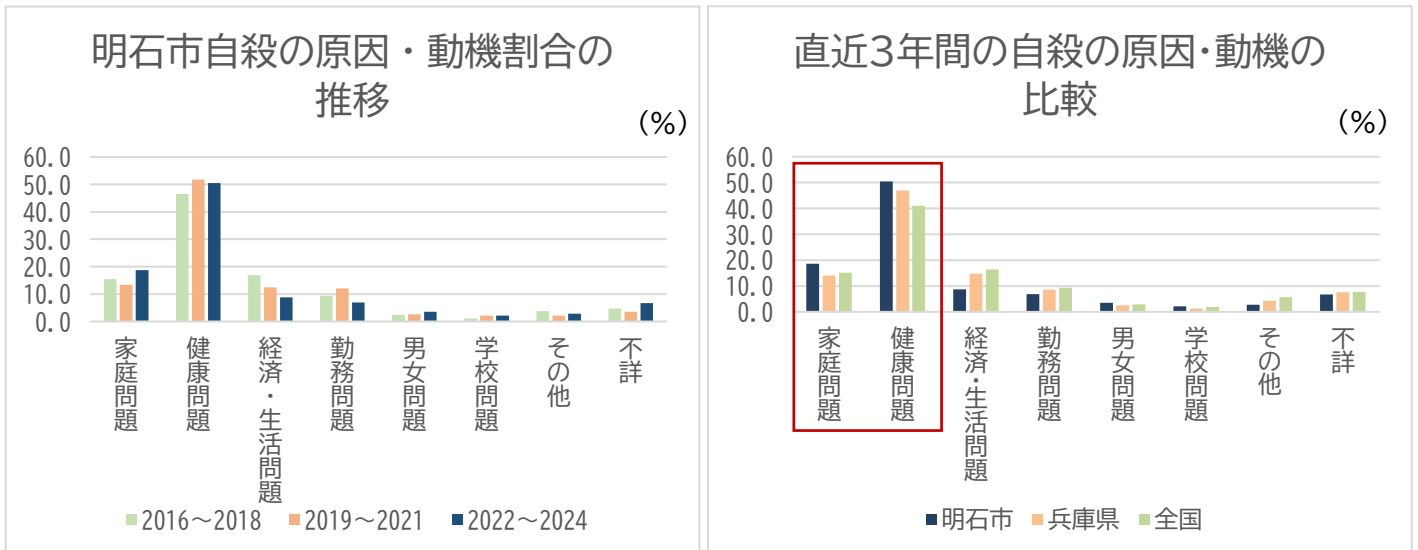
	1位	2位	3位
19歳未満	自殺	先天性奇形等	悪性新生物
20代	自殺	不慮の事故	悪性新生物
30代	自殺	悪性新生物	心疾患
40代	悪性新生物	自殺	心疾患
50代	悪性新生物	心疾患	自殺   脳血管疾患
60代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
70代	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患
80代	悪性新生物	心疾患	老衰
90歳以上	老衰	心疾患	悪性新生物   肺炎
100歳以上	老衰	心疾患	肺炎

○明石市の年齢別自殺死亡率は、子ども・若者、高齢者が増加。原因・動機では、家庭問題、健康問題が高い。  
 ○自殺未遂経験のある自殺既遂者の女性の割合は、全国・県と比較し高い。

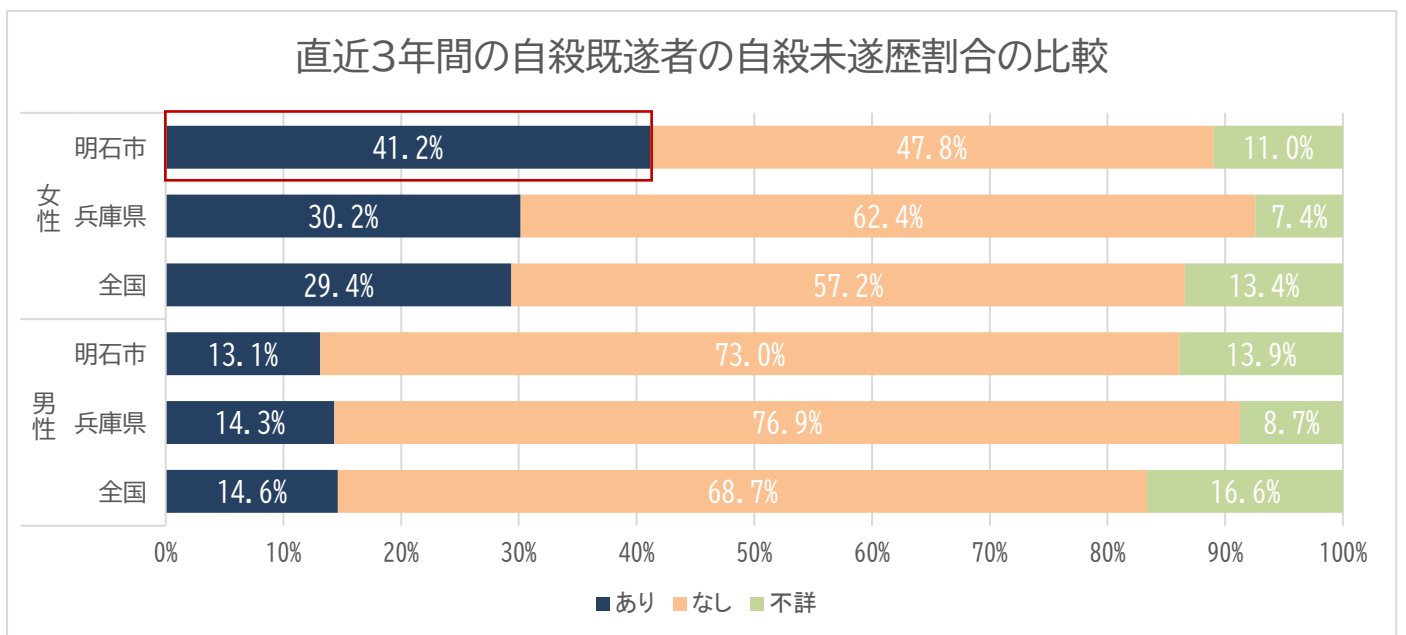
グラフ3 明石市年代別自殺死亡率および直近3年間の自殺死亡率の比較 ※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」



グラフ4 明石市自殺の原因・動機の推移および直近3年間の自殺の原因・動機の比較 ※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」



グラフ5 直近3年間の自殺既遂者の自殺未遂歴割合の比較 ※出典：厚生労働省「自殺の統計：地域における自殺の基礎資料」



## 2 明石市救急要請通知件数(自殺既遂者と未遂者を含む)

- 救急要請通知総件数と女性の通知件数が増加傾向。
- 市内在住未遂者の原因・動機では、家庭問題が他に比べて突出して多い。

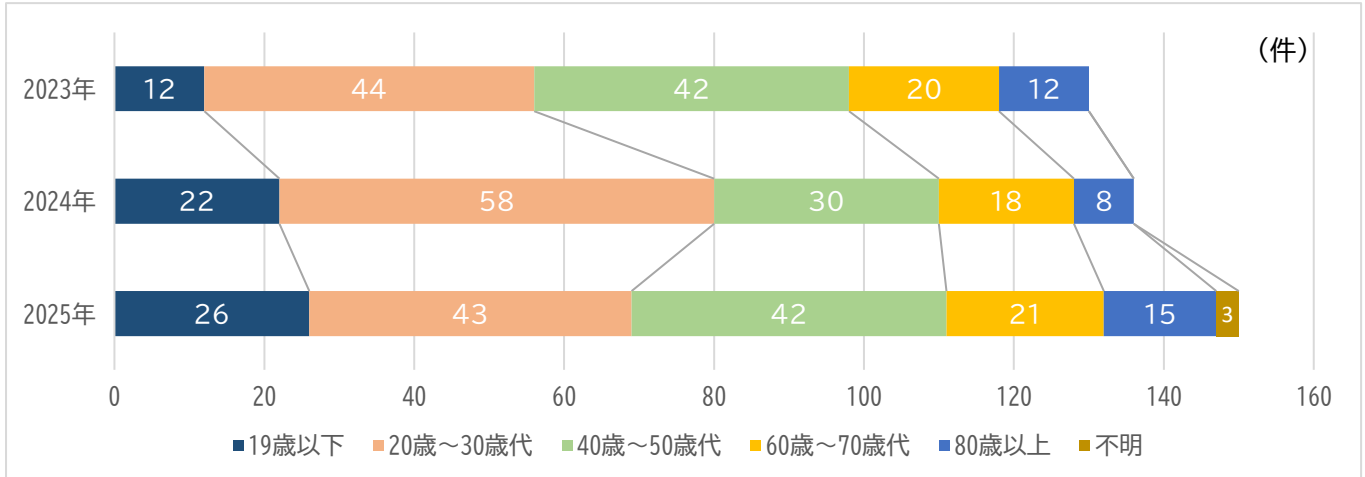
表2 明石市自殺未遂者等情報提供受理件数

※年度集計

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
自殺未遂者等情報提供受理件数	243件	228件	244件	290件	306件

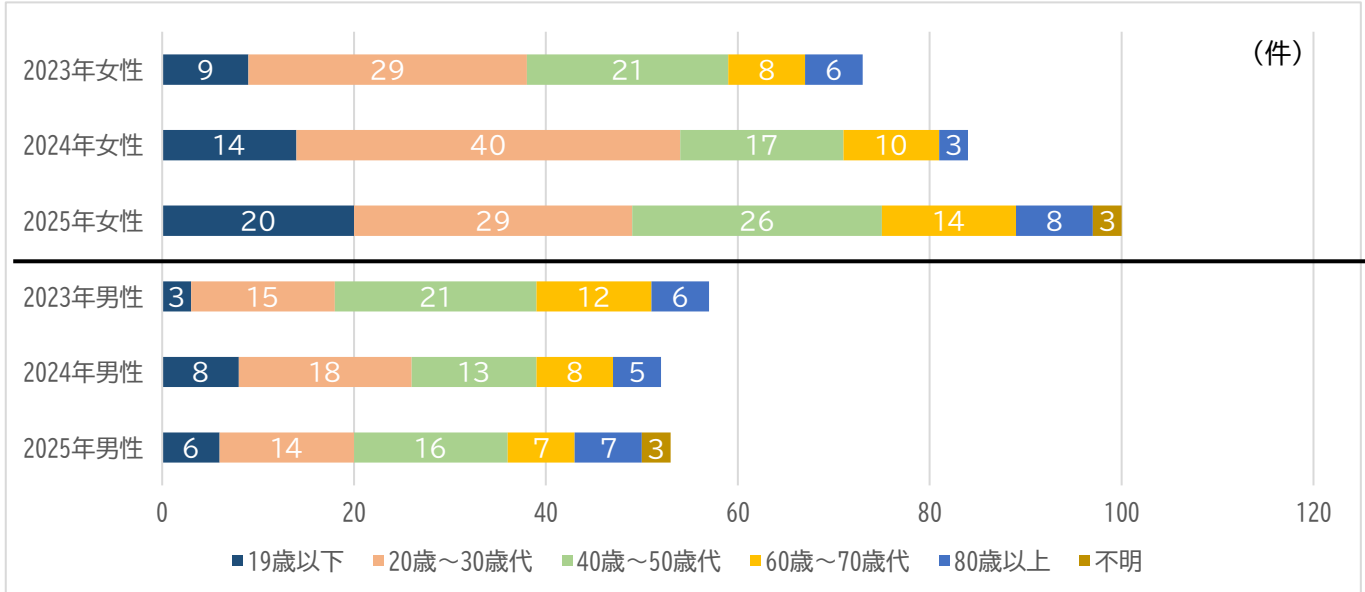
グラフ6 救急要請通知件数の年代別比較

※出典：救急要請通知書

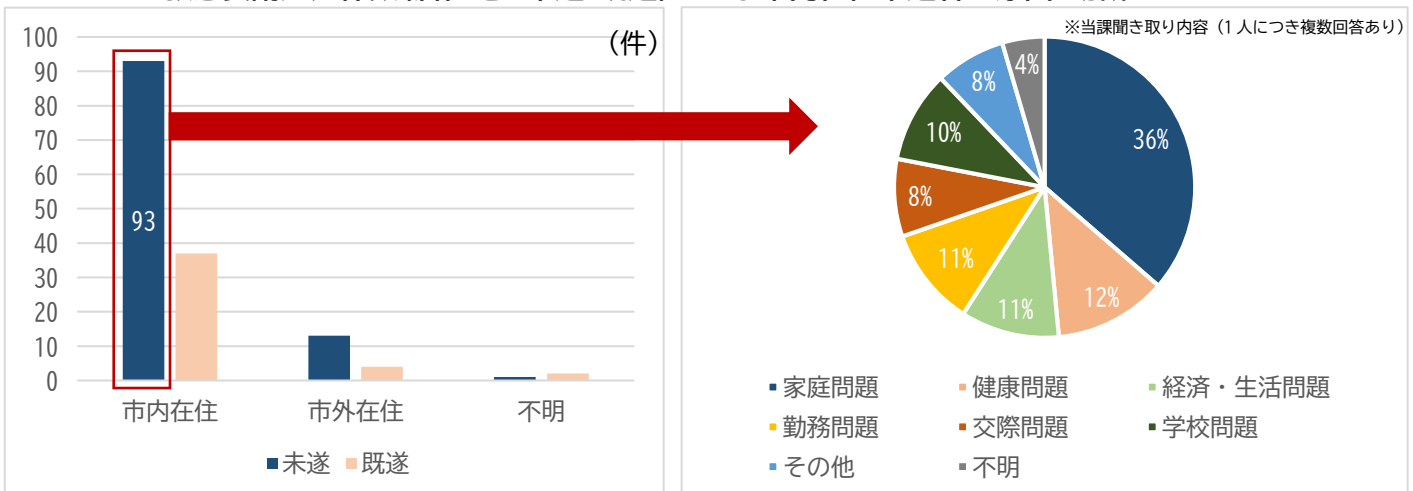


グラフ7 救急要請通知件数(性別×年代)

※出典：救急要請通知書

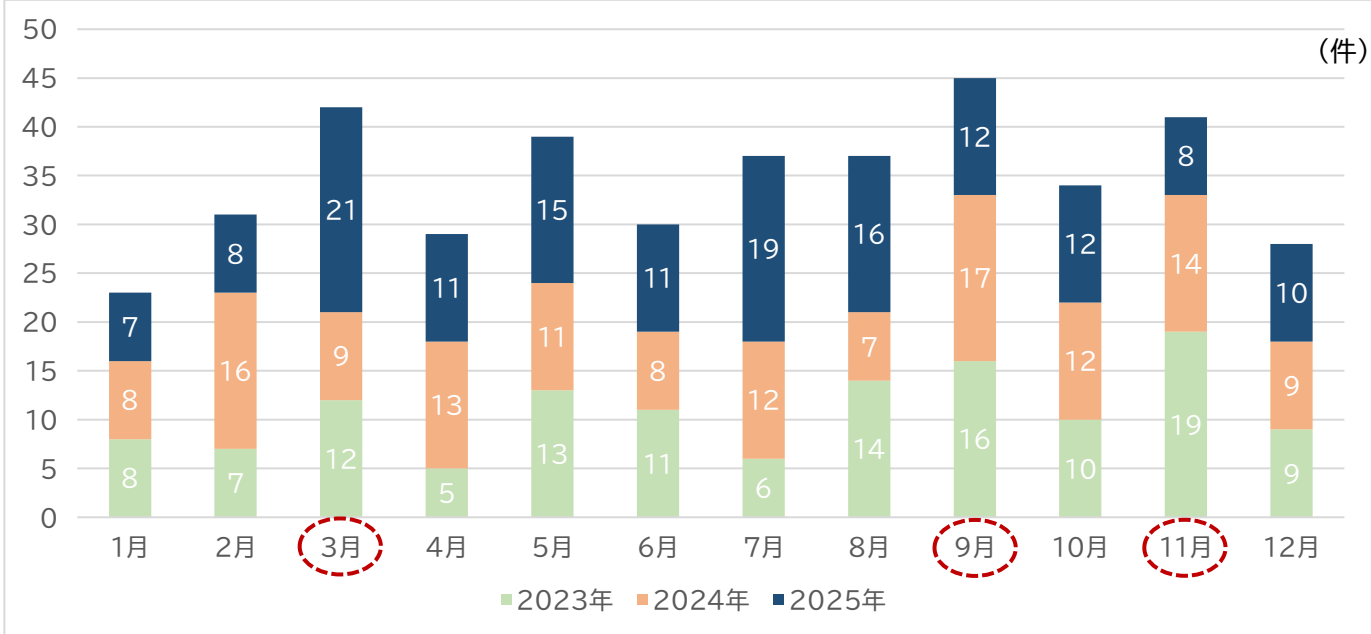


グラフ8 救急要請通知件数(居住地×未遂・既遂)および市内在住未遂者の原因・動機



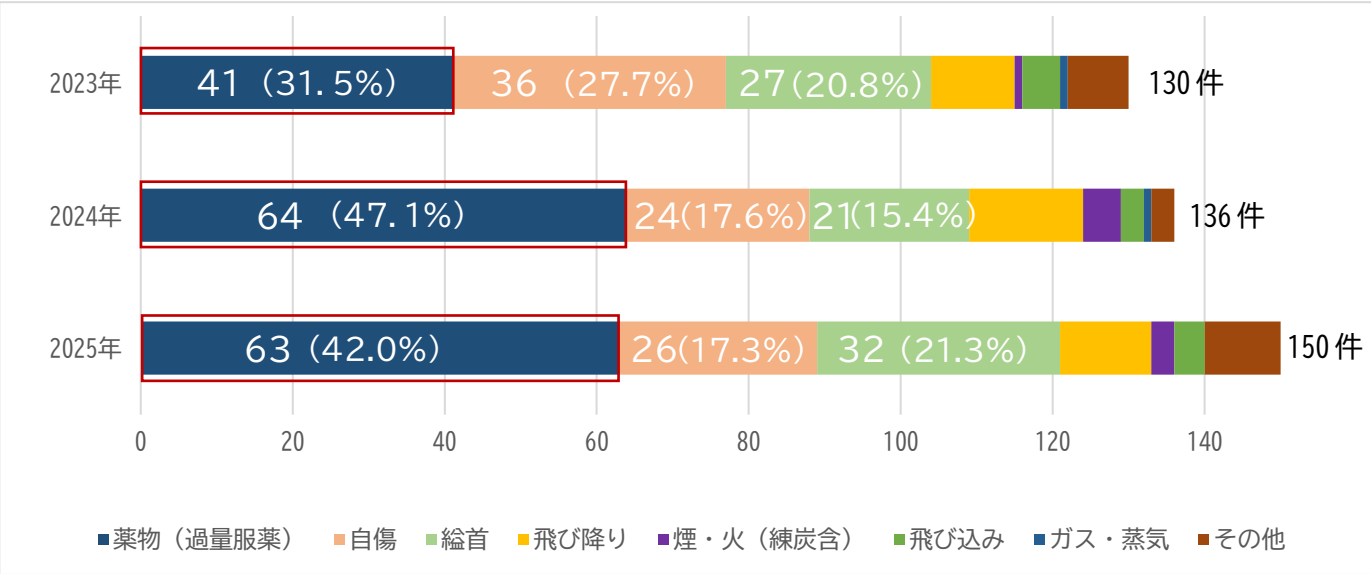
○救急要請通知総件数の月別では、3月と9月、11月が40件を超えている。  
 ○自殺方法としては、薬物（過量服薬）が1番多く、うち子ども・若者の割合が6割を占めている。

グラフ9 2023年から2025年における救急要請通知総件数(月別)



グラフ10 明石市救急要請通知の自殺方法別比較

※出典：救急要請通知書



グラフ11 救急要請通知・自殺方法「薬物(過量服薬)」の男女別比較および年代別比較(2023~2025年)

